



第1881回 例会

2012-13年度RI会長: 田中 作次
 第2640地区ガバナー: 北中 登一
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 橋本隆
 幹事: 吉本正美
 会報: 前田吉彦



VOL. 39 No. 39

2013年5月8日(水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 橋本 隆 会長

唱歌

“ 国歌、4つのテスト ”

野村 憲司 君



ゲスト

県立神島高等学校

3年 田中 星乃 さん

2年 井戸 芽依 さん

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
52名	8名	11名	75.00%
4月17日修正出席率 97.83%			

県立神島高等学校

北川 弘幸 先生

青少年交換プログラム長期受入学生

ユルバ・アルベンクローネ さん

ニコニコ箱

(敬称略)

◇県立神島高等学校 北川弘幸先生、3年 田中星乃さん、2年 井戸芽依さん、青少年交換プログラム長期受入学生ユルバ・アルベンクローネさんをお迎えして。

橋本・木村・中川・佐田・坂本・武田・竹村・玉置・上原・早稻田・渡口・山本・吉本

◇いいことがありました。 谷峯

◇谷峯さん、叙勲おめでとうございます。

愛須・本田・畔田・丸山博・浦地

◇近火お見舞い有難うございました。 吉田

◇本人誕生日 前田・野村・泉・丸山博

◇奥様誕生日 畑地・平野・野村・谷中・中嶋

◇結婚記念日 西谷・坂本・木村

◇お花頂きます。 谷中

会長報告

■本日のお客様は、神島高等学校の北川弘幸（きたがわ ひろゆき）先生と、3月に開催されたRYLA研修セミナーに参加された3年生の田中星乃（ほしの）さんと、2年生の井戸芽依（めい）さんの3名をお迎えしています。

そしてもうお1人、青少年交換プログラム長期受入学生のユルバ・アルベンクローネさんをお迎えしております。後ほど宜しく願い致します。

■4月27日(土)「2640地区の正常化を求める会」がホテルグランヴィア和歌山で開催されました。当クラブからは沖次郎君と谷中順次郎君に参加していただきました。ご苦労様でした。

■本日5月8日(水)午後7時より、有田2000RCさんの例会へ、会長、幹事、坂本正人君、畔田実君の4名で出席し、米山奨学生 権梅紅さんについてお話をして参ります。

■本日の例会終了後、定例理事会を開催致します。理事・役員の方はよろしくお願いいたします。

幹事報告

■例会日時変更

◎有田2000RC

5月22日(水)→ 5月18日(土)

移動例会 <座禅>

◎和歌山南RC

5月24日(金)→ 5月23日(木)19:00~

場所: ダイワロイネットホテル和歌山
 (姉妹クラブ新済州RC訪問日程と
 かさなる為の変更)

■メイクアップ

◎4月26日(金)泉州KUMATORIロータリーEクラブ

栗山侑三君

◎5月 1日(水)和歌山西 R C
◎5月 7日(火)田辺はまゆう R C

平野好史君
森本修至君

■回覧

◎週報「粉河 R C」

◎一般財団法人 比国育英会バギオ基金
「バギオだより5月号」

◎ロータリー財団専門家グループのニュースレター
「Tech Talk」

◎ガバナー事務所より

「ガバナー月信5月号」

「『ロータリーの友』地区だより5月号」

「青少年交換4地区合同スピーチコンテストのご案内」

「長期受入学生への終了証書授与式のご案内」

「インターアクトクラブ新入生歓迎会のご案内」

◎青少年交換プログラムによりスウェーデンに留学中の
西岡あかねさんより 「報告書4月」

■掲示

◎「和歌山県赤十字血液センター移転のお知らせ」を
掲示しています。

新住所は和歌山市和佐関戸118番5

5月13日(月)より業務開始です。

■連絡

◎ロータリーの友5月号が届いています。各自トレイに
入れてあります。よろしくお願いいたします。

本日のプログラム



県立神島高等学校

3年 田中 星乃 さん



3月21日、22日に大阪府立青年会館で開かれた
「ロータリー・インターアクトクラブの交流を
深める会」に、本会代表として参加しました。
この日は、各クラブの代表者が集まり、互いの
活動について報告しあいました。また、各
クラブの代表者が、本会の活動について
紹介しました。本会の活動について、各
クラブの代表者は、大変興味を持って
聞いていました。また、本会の活動について
質問をされた方もありました。本会の活動
について、各クラブの代表者は、大変興味
を持って聞いていました。また、本会の活動
について、質問をされた方もありました。

その後の「座談会」では、各クラブの代表
者が集まり、互いの活動について報告し
あいました。また、本会の活動について、
各クラブの代表者は、大変興味を持って
聞いていました。また、本会の活動について
質問をされた方もありました。本会の活動
について、各クラブの代表者は、大変興味
を持って聞いていました。また、本会の活動
について、質問をされた方もありました。

その後の「座談会」では、各クラブの代表
者が集まり、互いの活動について報告し
あいました。また、本会の活動について、
各クラブの代表者は、大変興味を持って
聞いていました。また、本会の活動について
質問をされた方もありました。本会の活動
について、各クラブの代表者は、大変興味
を持って聞いていました。また、本会の活動
について、質問をされた方もありました。

この日の活動は、大変有意義なものであり、
各クラブの代表者は、大変興味を持って
聞いていました。また、本会の活動について
質問をされた方もありました。本会の活動
について、各クラブの代表者は、大変興味
を持って聞いていました。また、本会の活動
について、質問をされた方もありました。



2B 16 我 依

今日 R.Y.L.A. セミナーに参加して、
 登壇もあり考えることが多く、たずね合について
 いろいろなことを学ぶことができた。

3日間のセミナーを
18日には、北中登一、カバネーの講演「平和にたつた」を
富田久子先生から琴演奏、木田悦朗先生の講演
日本人のこころと平和、映画鑑賞心に致す良き話
グルー・パトリック論会を
28日には、グルー・パトリックにイキーン？
バーベキュー キー・オブ・フー・アイ・アムと
30日には、富田久子先生の講演「ともに平和にたつた」
カッター・体験、グルー・パトリック研究発表会を行いました

まず、北中担い手から戦争についてのお話を聞きました。過去の日本は、たくさん戦争をしてきた人だと、お話を聞いています。改めて感じました。

今の日本は戦争をしていませんが、戦争中だ、という同、戦争体験によりもうな国、他あります。どうして問題を解決する方法として、戦争を避けるか、私は理解できません。

私には「戦争」という大きな物語ではなく、実際体験したこともありませんし、知識が浅いので、言えないところがあります。

そこで、身近に起こっている、例えば、核問題、戦争と共通しているところがあると思うので、それについて考えをお聞かせしたいと思います。

例えば、戦争については富田先生からお話をしてくれました。例えば、武器の起る原因は価値観の違い、自己中心の考えの差があると思います。

人は誰でも、嬉しいか、たり悲しいか、たり…他人に感情をもち、考えるものです。

しかし、その感情を抑制する能力は、他人を傷つけず行動にうつすこと、は間違、といます。

「いぬ」・「猿」は起るな」と思うに至るには、
まず、身近な人との間わりを大切にすること。
「いぬ」や「猿」を自分から受けつける。
誰か受けつけるというところから
周囲の人と話し合う環境・人間関係を
つくることが必要だとされる。
それと、お互いを認め合うこと。
人それぞれ違う価値観を理解し、尊敬することに
簡潔に「いぬ」や「猿」は起るな」と思ふべき。
世帯の問題解決に知らずの身近な問題に「いぬ」・「猿」は
よくわかること、なくして「よくわかん
ない」から始めるべきだと学ばされた。

次に映画鑑賞より、
映画の内容は、イギリスと日本が戦争中
偏見、いかにイギリス兵が海で救助を求めているかを、
日本軍が発見しました。戦であるイギリス兵を
救助するとあると、いかにの兵が死んでます。
1つは、救助した後イギリス兵が死んでるのを見
た。いかにと、2つ目は、傷ついた兵の燃料が少なく
なると、そのようになりつをいかにした。
日本軍の船は、「イギリス兵を1人残らず救助する
と決断しました。船長が水でいかにから救えられていた
武士道、いかにのような決断に導いてくれました。
この映画から、いかにが相手でも思いやりの心
で救い合う心、いかにの自分の中に1つの曲がある、悲
劇武士道、をいかにとでいかに人間関係をいかに、いかにするのと
いかにしました。

以上本田悦朗先生の講演より、
財務省政策評論家論議の本田悦朗先生は、
戦争と憲法についてお話ししてくれました。
平和主義には、侵略戦争、自衛戦争を放棄する
憲法上の主義と主権と侵略戦争の放棄棄する相互の平和主義の
2つあることを知りました。

本園先生のお話で一番考えさせられたことは、戦争がない状態のことを平和といふ。それなのかい。ということでした。確かに戦争がないことは安心で安全な生活をおくることにはなりません。平和を目指すためには大切なことだと思っています。しかし、戦争がなくとも、国同士の仲が悪いと世界中の人が仲良く平和を感じることは難しいと思います。

本田先生のお話で分かったのは、戦争がないことだけを平和と考えるのではない。自分たちのアイデンティティをもっと自国に誇りをもつ、それがお互いの国を理解し合うということです。自分だけではなく周囲への心掛けを、一人一人が大切にしていくことで、平和というものに近づくんじゃないかと、本田先生のお話で感じることを覚えました。

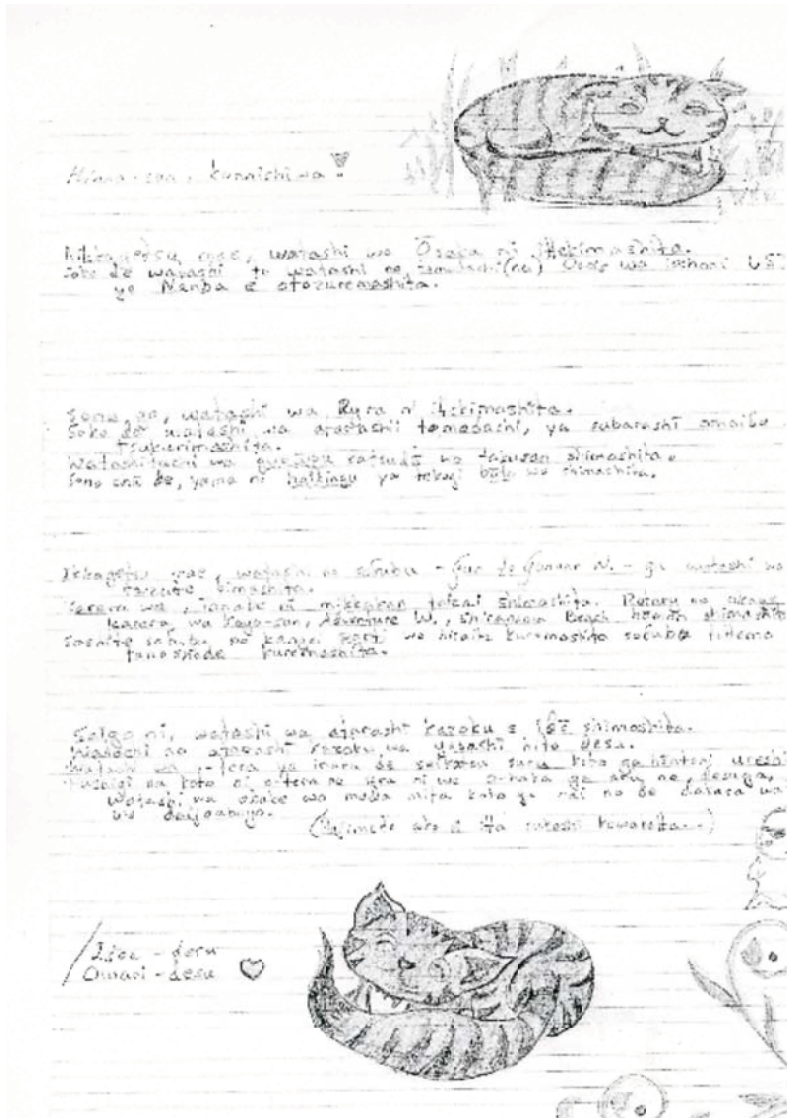
このセミナーを通して、平和とは何かと
考えてみました。私にとって平和とは
①命の循環性だと考えます。
②「イキナゲ」のときに目にした枯木は植物と
その周りの「いなき」と葉を広げる植物を見て
もう思いました。
この対照的な2つの植物から、
命の優越せし生かされるかを感じました。
限りある命を次の世代へとつなげて、
それ以外の国・地域での文化や歴史を
つくりあはせることが出来るのは
平和なことだと思います。

今日 R.Y.L.A. セミナーに参加して、深く考えることの大切さ、た。親子や平和について考える良い機会になったと思います。

秋田、このセミナーに行くまでは、生徒会という役をしていました。

人前に立って何かをするというのは苦手でした。
セミナーで色々と体験をさせてもらって、
他の人の発表の仕方や考えを学んではいて中で
チャレンジする心が大切だと感じました。
それから、自分の伝えたいことの内容を
きちんと整理・構成することとで
スムーズに伝えようと考えていると学びました。
今回経験したことを活かして、
これからの生徒会活動などを頑張りたいと
思いました。
将来を考えていくうえで
本当に良い経験になりました。
ありがとうございました。

ユルバ・アルベンクローネ さん



スウェーデンのティーレッサ ロータリークラブのバナー
RI第2370地区 TYRESÖ: ROTARYKLUBB



ロータリーの友 5月号

ロータリーの友5月号からの記事

高さ約25m、幅40mに及ぶ大きな樹がある。樹齢130年といわれハワイのオアフ島に根付く。「日立の樹」としてしられるこの巨木はアメリカネムノキであり樹形がすばらしい。一方、本邦でも岐阜県蛭川村にヒトツバタゴの樹、通称「なんじゃもんじゃ」と呼ばれる大樹があり、その花満開の写真がロータリーの友の表紙となっている。2640地区の会員の作である。当5月号の中身を垣間見る折に、是非ご高覧をいただきたい。

雑誌担当 上原